

研修報告書No. 1 6

所 属：県外大学病院研修医

研修先：佐川町立高北国民健康保険病院

仁淀川町国民健康保険大崎診療所

私は今回、佐川町立高北国保病院で研修させていただきました。

11月の高知県は意外に寒冷でしたが、紅葉シーズンであり、観光もさせていただき、とても有意義に過ごさせていただきました。

研修内容に関してですが、大学病院では経験できないような研修内容でした。

まずは、訪問診療についてです。私は100歳の高齢者のところを訪問させていただきました。その方は100歳なのにもかかわらず、自分の身の回りのことをしっかり行っており、会話も楽しく行えるような元気なおばあさんでした。私は今までの人生で100歳以上の患者さんをみたことはなかったので衝撃を受けたのを今でも覚えています。

デイサービスでは、おじいさん、おばあさんに混じってレクリエーションに参加させていただきました。みなさん元気に笑顔でおこなっており、私も楽しく参加させていただきました。最後にはみなさんの前でカラオケを歌ってくれといわれ少々驚きましたが、気持ちよく歌わせていただきました。

高北病院では人間ドックも行っていました。やはり高齢者の方が患者さんの多くをしめるため、人間ドックの件数は多かったです。しかし、高北病院の場合、都会の人間ドックとは異なり、そのドックの結果が電子カルテに保存されるため、それを元に医療を行うことができます。そのシステムに関しては仕事は増えますが、病気の見落としがなく、かなり効率がよいやり方で感心しました。

高知県の推奨する百歳体操も経験させていただきました。私はラグビー部であったので、体力に自信はありましたが、まじめに行うとかなりしんどい体操でした。高齢者の方が3週間行くと筋力が2倍ちかくになるといわれているので、これからも多くの方につづけていっていただきたいなと思いました。

療養病院では、インフルエンザの注射を100人近く注射しました。

大崎診療所では18年間大崎診療所で務める沖先生の外来を見学させていただきました。診察に来る患者がみな沖先生の知り合いでした。患者、医師の厚い信頼関係が形成されており、私も沖先生のような医師になりたいと思いました。

検食も高北病院で初めて行いました。NSTの方に直接指導していただきとても勉強になりました。嚥下食を初めて経験しました。大学病院では決して経験できない体験でした。

当直もないため、休日は観光をしていました。

みなさん、温かく迎え入れていただき、とても充実した1カ月でした。高北病院の方々ありがとうございました。

今回の臨床研修で得たことは地域医療の現状についてよく考えさせられました。

高北病院の内科の医師は、総合診療内科であり、内視鏡はじめ、大病院では技師さんに頼むような、腹部エコーなども自分で行わなければなりません。科も細分化されていないため、すべての疾患を自分でみなければならぬのです。どうしても、高北病院で手に負えない患者は、高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知赤十字病院など、高知市内の大病院へ紹介することが多く、ドクターヘリがかなり活用されていました。

高知県の医療に関してはやはり医師不足が深刻だなと感じました。私の大学病院では手術時の麻酔はすべて麻酔科医がおこなっていましたが、高北病院では、整形外科の手術時に、整形外科の先生が麻酔をかけているのにおどろきました。やはり医師不足は深刻であり、今後の課題であると感じました。

高北病院に研修してとてもいい経験になりました。いつか、また、高北病院を訪れたいと思っています。